「山形県県土づくり感謝状」が授与されました

１１月２５日（木）、公共土木施設の利用環境改善や安全性向上などに功績のあった１００団体・個人に、「山形県県土づくり感謝状」の贈呈式が県庁で行われ、「小松地区地域振興協議会」へ感謝状が授与（平山雅之副知事が代表者に感謝状を渡し、吉村美栄子知事のメッセージを代読）されました。長年、ふるさとの川愛護活動支援事業に参加し、河川の草刈り活動に取り組み、美化活動への貢献が認められたものです。長年にわたり、ご協力いただいた関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。引き続き活動に参加し、貢献し続けたいと考えております。

年末年始、お酒と上手につきあおう！

国が推奨する「節度ある適度な飲酒」の量は、約20g程度であるとされています。適量にはかなり個人差があります。自分の適量と体調を考えてお酒を飲むようにしましょう。

アルコール量計算式

飲んだ量(ml)×
アルコール度数(%)÷100
×0.8(比重)＝純アルコール量(g)

ビール(5%) 500mlだと、純アルコール量は 20g

日本酒(15%) 180mlだと、純アルコール量は 21.6g

花壇撤去作業実施しました

◎期日：１１月１４日（日）８：００～
◎場所：小松駅西東花壇

小松地区スポーツ少年団の皆さん、各公民館、協議会役員の皆さんのご協力を得て、５月下旬より町の沿道を彩ってきた花の撤去作業を行いました。深い霧の中での作業でしたが、手際よく片付けていただき、子供たちもたくさん参加してくれたおかげで短時間で終了することができました。お忙しい中、早朝からお集まりいただきましてありがとうございました。

“クスッ”と笑ってみませんか！

地域の方から面白いよ！とご紹介されました。「笑点」の大喜利テーマでの回答だったようです。

１８歳と８１歳の違い

- ●恋に溺れるのが１８歳、風呂で溺れるのが８１歳
- ●道路を暴走するのが18歳、道路を逆走するのが81歳
- ●心がもろいのが18歳、骨がもろいのが81歳
- ●偏差値が気になるのが18歳、血糖値が気になるのが81歳
- ●まだ何も知らないのが18歳、もう何も覚えていないのが81歳

小松地区まちづくり計画策定について

小松地区地域振興協議会が展開している各種事業は、「まちづくり計画」に基づいて実施しているものであり、「第３期小松地区まちづくり計画書（期間は５年）」が今年度終了します。今後、５年間（令和４年度から９年度）の小松地区地域振興の方向を示す「第４期小松地区まちづくり計画」作りにあたっては、計画検討委員会を構成し、各部会、自治会長連絡協議会、公民館長会において「第３期小松地区まちづくり計画」により行ってきた事業の総括・評価及び各部会等からの意見や、少子高齢化による地域活動に支障が生じている等の時代背景を考慮しながら、今までの事業経過を踏まえ計画づくりを進めます。地区計画検討委員会において「第３期地区計画」の評価や「第４期地区計画」の確認を行い総会において承認後、地区への周知や事業を実施して参ります。

「ゆうゆう大学全体会」開催しました

◎期日：１１月２５日（木）１３：30～
◎場所：フレンドリープラザ

川西ゆうゆう大学全体会では、運動アドバイザーの岡田麻紀氏をお招きし「すぐできる、楽しい生活改善法」～コロナ過での健康づくり～の演題で、講演が開催されました。ご本人の長年の肥満や体調不良の実体験を元に「やきとりじいさん体操」を考案。誰でも簡単に楽しくできるという事でメディアでも注目され幅広く紹介された方のお話をお聴きしました。始めは、講師の緊張感がとても感じられ、参加者の方も固い表情でお話しを聞いていましたが、だんだん慣れてきて、みんなと一緒にストレッチや曲に合わせて体操したりと楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

手作りのしめ縄 しめ飾りを寄贈いただきました

わら細工の指導者としても活動されておられます萩野地区の“片倉義美”さんより、小松地区交流センターに“しめ縄”と“しめ飾り”を寄贈いただきました。お正月に当センターに飾らせていただきます。毎年ありがとうございます。